2026 年 4 月 28 日

株式会社 Space Compass

Space Compass と Airbus Defence and Space、
光通信および地球観測ソリューションに関する協力に向けた MOU（覚書）を締結

株式会社 Space Compass（以下、Space Compass）は、Airbus Defence and Space SAS（以下、Airbus）と光通信およびリモートセンシング分野に関する協力に向けた覚書を締結いたしました。
本覚書に基づき両社は、高速・大容量で、準リアルタイムの通信を可能とする光データリレー技術が、今後急速に増加する地球観測分野の需要にどのように貢献できるかについて検討を進めます。

地球観測データのリアルタイム化に向けて／次なるコネクティビティの可能性への検討
本検討では、Space Compass が構想する光データリレーサービスと、Airbus が長年にわたり培ってきた地球観測データの運用ノウハウを組み合わせることで、地球観測データの利活用における新たな付加価値の創出可能性を検証します。これにより、従来の無線通信（RF）が抱えてきた制約を補完し、地球観測データをより迅速に届けることをめざします。
さらに両社は、光通信および光データリレーサービスの活用により、航空機向けコネクティビティを含む新たな分野への応用可能性についても検討を進めます。本覚書に基づく取り組みはいずれも検討段階にあり、今後の技術評価および両社間の協議・合意に基づいて具体化される予定です。

また、本覚書の調印式には、日仏両国の宇宙政策および研究機関の代表者が出席し、宇宙分野における国際連携の重要性をあらためて示す機会となりました。

小松 大実氏（Space Compass 代表取締役 Co-CEO）コメント
「Airbus Defence and Space と連携し、光通信および地球観測ソリューションの実現に向けた検討を進められることをうれしく思います。本取り組みを通じて、地球観測のリアルタイム活用を後押ししていきます。」

Eric Even 氏（Head of Airbus Space Digital, Airbus Defence and Space）コメント
「Space Compass は、光通信技術を活用したインフラ分野で豊富な知見を有するパートナーです。今回関係を一層強化することにより、当社が先駆してきた技術の実用化を加速し、必要な情報を必要なタイミングで地上へ届けることをめざします。」

株式会社 Space Compass について

株式会社 Space Compass は NTT 株式会社とスカパーＪＳＡＴ株式会社が設立した合弁会社です（代表取締役 Co-CEO 小松 大実、同 堀 茂弘）。宇宙統合コンピューティング・ネットワークの構築により、持続可能な社会を実現します。この構想の第一歩として、宇宙データセンタ（宇宙における大容量通信・コンピューティング基盤）、宇宙 RAN（Beyond5G/6G におけるコミュニケーション基盤）の事業・サービスに取り組んでいます。今後は IOWN などの革新的な技術も活用し、さらなるサービスの強化をめざしていきます。https://space-compass.com

本リリースは、NTT グループ各社等が展開する宇宙ビジネスのブランド「NTT C89」およびスカパーＪＳＡＴの宇宙事業ブランド「JSAT」の取り組みの 1 つです。

NTT C89
https://group.ntt/jp/aerospace

JSAT
https://www.skyperfectjsat.space/jsat